

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

熊本県 熊本市

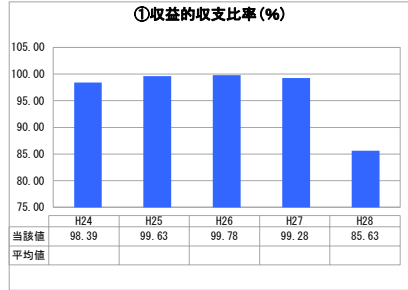
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>※</sup> 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	0.59	100.00	2,303

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
733,844	390.32	1,880.11
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,303	2.18	1,973.85

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



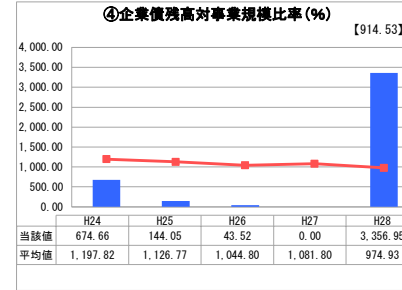
「単年度の収支」



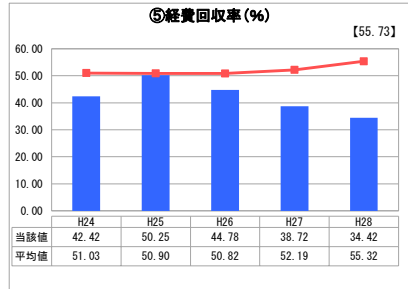
「累積欠損」



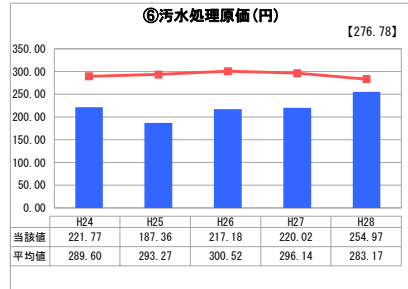
「支払能力」



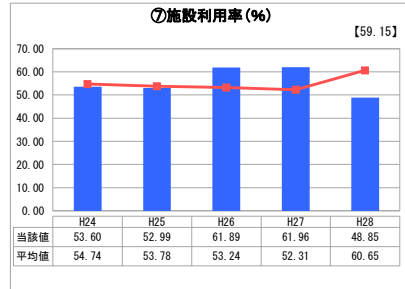
「債務残高」



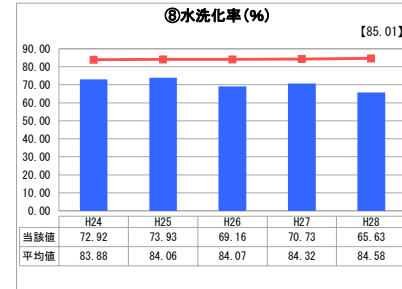
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

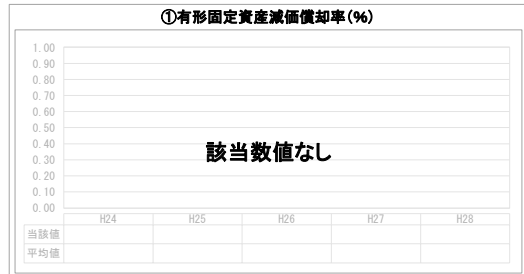


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

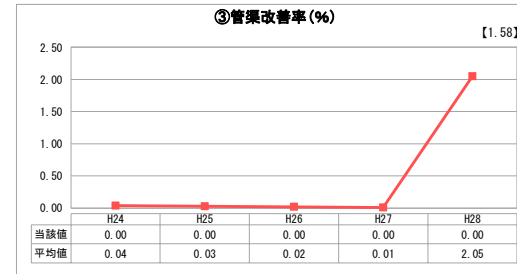
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率については、過去の決算においては均衡していたものの、平成28年度は、熊本地震に係る災害減免により総収益額が減少したことや、災害復旧経費が発生したことにより総費用が増加したことから、収支が悪化したもの。

⑦施設利用率については、熊本地震による利用者の利用休止や廃止等の影響により減少したものの。

### 2. 老朽化の状況について

管渠の耐用年数は概ね50年となっており、各施設は供用開始から15年程度しか経過しておらず、概ね良好である。

### 全体総括

平成28年度については、熊本地震の影響により、施設の利用率が減少するとともに、単年度で収支が悪化した。今後も引き続き、効率的な運営に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。